

いということでもあります。いずれの専門分野でも、イノベーションが進む中でグローバルな視点でものを捉え、創造的・実践的に考え、行動できるエンジニアが求められています。

小山高専にはそのための道が用意されています。15歳から理論と実践的な実験実習をスパイラルに学習できる早期技術者教育いわゆる高専教育システムが整っており、ここでの勉学は将来とても役立つと思います。

毎年行われる大学コンソーシアムとちぎの学生研究発表会においては、本校の5年生や専攻科生は大学生・大学院生に伍して毎年のように県知事賞や金賞に選ばれるなど多くの立派な成果を収めています。また海外からも、モンゴルやメキシコなどの国では日本の高専システムが注目され、導入されました。政府においても高専システムを海外に輸出する計画が打ち出されるなど、高専教育システムに対する評価の高さが十分お分かりになると思います。

さて、これから皆さんが小山高専での学習に取り組むに当たって是非心懸けていただきたい5点についてお話しします。

まず、1年生も含めて皆さんを学生と呼ぶことにします。学生は自ら考え、自らの責任で行動できることを基本としています。自立した学生としての意識をもって生活するように努めてください。

次に、授業は自分を成長させる場と思って前向きに取り組んでいただきたいと思います。睡眠や食事をきちんと取り、体調を整えて臨むことが学生の基本です。

三つ目は、教わったことをただ鵜呑みにするのではなく、「なぜか」という疑問を持って考えることがとても大切です。自らより深く考えたり調べたりする良い学びの習慣が身につけてきます。もし行き詰ったらその疑問を先生方にぶつけてみるのも手です。解決できれば自分の中に知的財産が蓄積されていきます。

“Why”の追求は自主的学習の大事なポイントになります。

四つ目は、できるだけ予習を心掛けることです。復習にウェイトが置かれがちですが、予習することによって自分なりの課題や注目するポイントを意識して授業に臨むことができ、不明な点は質問もしやすくなります。何よりも授業が楽しくなり、良好な学習スパイラルにつながっていくはずですよ。

最後は、日本語は当然のことですが、語学特に英語力をつけることです。世界の共通言語である英語を身につけることは世界の人々とのコミュニケーションに欠かせないツールになっています。本日入学された留学生の皆さんを含む各国の留学生との対話や本校が実

施している国際交流活動に参加することにより、お互いの言葉や文化に触れる機会も得られ、グローバルエンジニアへの芽も徐々に膨らんでいくことでしょう。

今、述べた事柄はいずれも自ら学ぶ、進んで学ぶ自主的な学習が基本であり、学生のあるべき姿です。このことを強く意識して勉学に勤めて下さい。

次は学習と並んで重視している人間性についてです。本校は教育理念として「技術者である前に人間であれ」を掲げてきました。これは島津秀雄初代校長の残した言葉ですが、技術を求める者は往々にして目の前のものに執着してしまい、人の存在をつい忘れてしまうことを諫めたものです。技術だけでなく、幅広い教養を身につけて、豊かな人間性あふれるエンジニアに育て欲しいとの望みが託されており、私のモットーとする「誠実にして進取する」と相重なる言葉としても重視しております。

では、どのようにすればこの理念に近づくことができるでしょうか？

それにはまず、専門だけでなくリベラルアーツといわれる文学や社会などもしっかり学んでいただきたい。いずれ自分の専門領域の背景や真の目的に気づく時が来ると思います。

次に、課外活動や学生会活動、寮生であれば団体生活など小山高専で展開される様々な活動に参加して、授業のみでは得られない協調性や忍耐力、指導力、突破力等の総合的な「人間力」もぜひ身につけていただきたい。それらの度合いによって一人ひとりの個性も磨かれていきます。活動の場としては体育系14、文化系10のいずれの部活動でも結構ですし、本校の看板にもなっているロボコンやプロコン、デザコンでもよろしいと思います。これら多くの部活動では先輩から後輩への伝統が息づいており、皆さんの参画によりさらに発展させてください。

3番目には、人間性の涵養を促す一環として、学校としても今年度から1年生に限って混合学級を導入することに致しました。これは学科の枠を超えたクラス編成で、4学科の学生が等しく組まれたクラスになっております。早速本入学式で混合クラスで並んでいただいた次第です。狙いとするところは学科を超えた学生同士の交流と視野の拡大を促すことにあり、いろいろな専門を学ぶ多くの友を作って頂きたいと願っております。

続いて、専攻科についてお話しします。専攻科では専門性や創造性を更に伸ばすとともに、問題提起と実践的な解決能力を備えた創造的なエンジニアの育成を目的としています。本科と専攻科を併せて7年間で修